



誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

人権作文の紹介(令和7年度)

今月は、矢部中学校二年 児玉綴
さんの作文をご紹介します。

自分の生き方を見つめて

僕は、小学生のころから黄色いリボンに「人によって態度を変えない」と書いています。人権学習を通して、人によって態度を変えることが、いじめや差別につながると考えたからです。僕は、初めて会った人でも気軽に話せます。でも、相手によって、冷たい態度をとってしまうことがあります。それは、「この人苦手だな」「自分と意見が合わない」と思ったときです。相手のことを知ろうとせず、その人と距離をとることがあります。そういうところに僕の差別心があると思いました。だから、黄色いリボンに書いて、「自分は今どうなのか」と振り返りながら過ごすことが大切だと感じています。そして、自分の行動を相手がどのように思っているのか、と相手の立場になって考えることも続けてい

きたいです。
二期期の人権学習の中で現地学習会をしました。その中で、「人と人のつながりを切ってしまうのが差別だ」というお話がありました。そこで僕は、自分のクラスについて考えました。僕のクラスは、表面上は仲良く見えるけど、一人一人はしっかりとつながっていないと感じます。それは、おかしいことに気づいていても周りの目を気にして、相手に伝えることができなかったり、全体の前で自分の思ったことを素直に発表することができなかったりするからです。僕も含めて、周りを気にしてしまうのは、「みんなと同じでないといけない」という気持ちが強すぎるから周りや違う行動をすることができないのだと思います。「個性を大事にしよう」「お互いを認めよう」と口では言っているが自分たちの行動にはつながっていないかもしれません。だから、僕たちのクラスにはまだ差別や偏見があると思います。他にも、僕たちのクラスでは毎日、一分間スピーチを行っています。発

表者に対して返しの言葉を伝えるのですが、いつも決まった人が手を挙げたり、なかなか返しの手が挙がらなかったりすることがあります。「自分がしなくても誰かがするだろう」とクラスのことに自分の事としてとらえることができていません。僕もまだ、いつでも手を挙げることでできているわけがありません。でも、発表した人が「発表して良かった」と思えるように返しの言葉を伝えていきたいです。
クラスの中から差別や偏見をなくしていきたくて、僕だけが変わっても差別や偏見はなくなりません。でも、僕が行動を変えることで、「自分も同じ気持ちだ」と一緒に行動してくれる人がいたら嬉しいし、心強いです。だから、僕は勇気を出して、「おかしいことはおかしい」と伝えていきたいです。そして、差別や偏見をなくしていくクラスになるために全員でこれからも考えていきたいです。

ちよつと考える

就職における部落差別

就職は生活の安定に必要なだけでなく、仕事を通しての自己実現や社会参加など豊かで人間らしい生活を送る上でとても大切なことです。しかしながら、求人にあたり、本人の能力や適性とは関係のない本籍地や親の職業などを採用選考の資料

とする企業がありました。
例えば、1975(昭和50)年には、同和地区・被差別部落の所在地などが記載された「部落地名総鑑」という冊子が販売され、多くの企業などが購入し、就職差別などに利用していたことがわかりました。
こうしたことから、就職のための応募書類(履歴書)から本籍欄や家族欄などが削除されたり、身元調査は行わないこと、一定の規模の事業所には公正な採用を推進するための推進員を置くことなどが定められました。

こうした取り組みにより、同和地区の人だけでなく、外国籍の人や一人親家庭の人など多くの人が安心して就職活動に取り組めるようになったのです。しかし、1998(平成10)年には、調査会社が多くの企業から依頼を受け、就職希望者が同和地区出身であるかどうかなどの身元調査を行っていたことがわかりました。就職差別をなくし憲法で保障された職業選択の自由を守るためには、雇用主には公正な採用選考を行うよう不断的努力が求められています。また、私たち一人ひとりが人権感覚を磨き、こうした就職差別を許さない、人権の尊重された社会を築いていくことが必要です。

自分の人権を守り
他人の人権を守る
責任ある行動を



©2010 熊本県くまモン

快挙! 県内農業関係高校で現在唯一!

サツマイモ圃場で有機JAS認証取得

坂本町長から労いの言葉をいただきました!



有機の品目を増やせるように頑張ります。

食農科学科が有機JAS認証を取得しました。有機のイチゴを作りたいという思いから手探り状態からのスタートでした。生徒たちは紆余曲折ありながら諦めず日々の研究を重ね、この度、悲願の有機JAS認証を取得しました。現在、県内農業関係高校で本認証を持つのは本校のみです!(令和8年 5月28日現在)
今後は、イチゴでの認証取得に向け、挑戦を続けます! 食農科学科3年の大久保さんは、「有機農業の町に明るいニュースを届けることができて嬉しいです。」と話していました。



7・8月行事日程

- 7月2日(木)~7日(火) 期末考査
 - 7月23日(水) 終業式
 - 7月24日(金)~28日(火)
夏期前期課外(O1、O2進、公務員)
 - 7月24~8月3日(月) 夏期前期課外(O3進)
 - 7月31日(金) オープンスクール
 - 8月11日(水)~15日(土) 学校閉庁日
 - 8月27日(木) 始業式
- ※行事・日程等を変更する場合があります。
詳細は学校ホームページ等でご確認ください。

教育実習

5月25日(月)~6月5日(金)

卒業生2名が教育実習生として母校の教壇に立ちました。(令和5年3月林業科学科卒)大学卒業後は2人とも教育関係の仕事を目指すそうです。ゲームやグループワークを取り入れた授業など、若い感性とアイデアが光りました。今後の活躍に期待します。



オープンスクール

《7月31日(金)》
に矢部高オープンスクールが開催されます!!
普通科:フシギがいっぱい! 驚きの化学実験
食農科学科:お部屋を飾る♪おしゃれ鉢植え作り
林業科学科:木のぬくもり体験! 本格物づくり体験
皆様の申し込みお待ちしております!
申し込みはこちらから→
(締め切り7月27日17時まで)



山都町おむすびプロジェクト

6月6日(土)山都町おむすびプロジェクトに生徒25名が参加しました。初めて田植えを経験した生徒もあり、参加した生徒達にとって、お米づくりの喜びと大切さを実感する貴重な一日となりました。泥だらけになりましたが最後まで一生懸命頑張ってくれました。



【矢部高校ホームページ】



↓矢部高校の情報は以下もチェック!

【Instagram】



【Facebook】



【YouTube】



よりみちカフェ
始めました

